

こんにちは、炭素市場エクスプレス事務局です。

本メールマガジンは、炭素市場に関する最新の動向や国内外のイベント情報等についての情報を毎月 2 回程度配信しています。下記リンクもあわせてご覧ください。

ホームページ <https://www.carbon-markets.go.jp/>
Facebook <https://www.facebook.com/jcm.oecc/>
二国間クレジット制度 (JCM) <https://www.carbon-markets.go.jp/jcm/index.html>

◇トピックス

◆1. 事務局からのお知らせ

- [1] I4C 2022 ウェビナー傍聴：エネルギー移行期における女性のエンパワーメント：人権を羅針盤に？ (2022 年 5 月 26 日)
- [2] I4C 2022 ウェビナー傍聴：6 条の現状・グラスゴー以降の 6 つの取り組み：止まっているのか？進んでいるのか？ (2022 年 5 月 26 日)
- [3] I4C 2022 ウェビナー傍聴：カーボンプライシングの状況と傾向 2022 (2022 年 5 月 24 日)
- [4] 日・ラオス合同委員会による電子決裁

◆2. 政府機関の報道発表

- [1] 「温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度における算定方法検討会 (第 3 回)」の開催について (環境省)

◆1. 事務局からのお知らせ

- [1] I4C 2022 ウェビナー傍聴：エネルギー移行期における女性のエンパワーメント：人権を羅針盤に？ (2022 年 5 月 26 日)

「エネルギー移行期における女性のエンパワーメント：人権を羅針盤に？ (Women's Empowerment in the Energy Transition: Using Human Rights as a Compass?)」

日時：2022 年 5 月 26 日

主催：I4C

本イベントでは、人権が持続可能な移行を保障する基本的なツールであり、誰一人として取り残されることのないよう、気候変動対策を導くための羅針盤として使用することが可能であり、またそうでなければならぬことを様々なステークホルダーに強調し説明することを目的として開催された。～

【ウェビナー傍聴メモ】

⇒ http://carbon-markets.env.go.jp/column/event_report/11704/

[2] I4C 2022 ウェビナー傍聴：6条の現状・グラスゴー以降の6つの取り組み：止まっているのか？進んでいるのか？（2022年5月26日）

「6条の現状・グラスゴー以降の6つの取り組み：止まっているのか？進んでいるのか？（State of play of Art. 6 initiatives after Glasgow: Stop or Go?）」

日時：2022年5月26日

主催：I4C

本イベントでは、スウェーデンとスイスのITMO調達プログラムが、現在どのような状況にあり、今後数年の間に市場から何が期待されているのかということに加えて、ガーナの取り組み状況についても、その概要が報告された。～

【ウェビナー傍聴メモ】

⇒ http://carbon-markets.env.go.jp/column/event_report/11705/

[3] I4C 2022 ウェビナー傍聴：カーボンプライシングの状況と傾向 2022（2022年5月24日）

「カーボンプライシングの状況と傾向 2022（State and Trends of Carbon Pricing 2022）」

日時：2022年5月24日

主催：世界銀行

世界銀行は、『カーボンプライシングの状況と傾向に関するレポート 2022』を発表し、過去1年間のカーボンプライシングの主な進展について紹介するとともに、国際的及び国内の取組を含む、世界中の既存及び新規のカーボンプライシングに関する制度の最新情報について共有を行った～

【ウェビナー傍聴メモ】

⇒ http://carbon-markets.env.go.jp/column/event_report/11706/

[4] 日・ラオス合同委員会による電子決裁

日・ラオス合同委員会は電子決裁により提案プロジェクトに関する決定を行いました。

【詳細】

⇒ <https://www.jcm.go.jp/la-jp/information/448>

【ラオスにおける最近の動向】

⇒ <http://carbon-markets.env.go.jp/jcm/initiatives/laos.html>

◆2. 政府機関の報道発表

[1] 令和4年度脱炭素社会実現のための都市間連携事業委託業務採択結果について（環境省）
環境省では、日本の都市が有する脱炭素社会形成に関わる経験やノウハウ等を活用して、途上国における脱炭素化を推進するための「脱炭素社会実現のための都市間連携事業」を実施しています。今般、本事業の公募をしたところ 23 件の応募があり、審査の結果、20 件を採択することとしましたのでお知らせします。

【報道発表】

⇒ <https://www.env.go.jp/press/111044.html>

[2] 「令和4年度二国間クレジット取得等のためのインフラ整備調査事業（JCM 実現可能性調査及び CEFIA 国内事務局等業務）」のうち JCM 実現可能性調査（脱炭素分野）に係る企画提案の募集について（経済産業省）

本 FS は、アジアや中東等の国又は地域でのエネルギー転換・脱炭素社会実現に向け、ビジネス環境整備を実施するため、我が国企業等の脱炭素技術・製品の普及等を促進し、当該国での温室効果ガス排出削減を実現することを目的としています。募集する FS の対象は、脱炭素技術・制度を一体としたプロジェクトです。なお、FS の実施にあたっては、採択された提案内容を基に、実施内容の詳細を経済産業省担当者と相談の上、決定します。

公募期間：令和4年5月31日（火）～6月20日12時（月）

【報道発表】

⇒ <https://www.meti.go.jp/information/publicoffer/kobo/2022/k220531001.html>

[3] 令和4年度水素製造・利活用第三国連携事業の公募について（環境省・GEC）

途上国等において優れた脱炭素技術等を活用して温室効果ガス（GHG）を削減するとともに、我が国の貢献に応じて JCM クレジットの獲得も目指す二国間クレジット制度（JCM）の推進に向けて、太陽光発電や風力発電等の再エネが豊富な第三国において、再エネ由来の水素を製造し、パートナー国

(島嶼国等) への輸送・利活用を促進する実証事業の一部を補助する「二国間クレジット制度資金支援事業のうち水素製造・利活用第三国連携事業」の令和4年度の公募を開始します。

公募実施期間：令和4年5月10日(火)～6月17日(金) 12:00

【公募の詳細】

⇒ https://gec.jp/jp/hydro_kobo2022/

◆3. イベントのお知らせ

[1] 「温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度における算定方法検討会(第3回)」の開催について(環境省)

開催日時：令和4年6月28日(火)

開催方式：オンライン会議形式(ライブ配信)

議題：

- (1) 本制度の対象範囲・算定対象活動・排出係数の見直しについて(状況報告)
- (2) 本制度で活用できるカーボン・クレジット等について(討議)
- (3) 都市ガス・熱の供給事業者別排出係数について(討議)
- (4) 電気の使用に伴う排出量の算定方法について(討議)

※議題(2)において同制度におけるカーボン・クレジットの取り扱いについて議論が行われました。

【検討会の資料】

⇒ <https://ghg-santeikohyo.env.go.jp/study>

◎●お問い合わせについて

炭素市場エクスプレスでは、二国間クレジット制度(JCM)や国際的な市場メカニズムに関する情報を提供しております。JCMの制度や仕組み、プロジェクトの実施、クレジットの活用及び市場メカニズムの動向等について、メールにてお気軽にご相談ください。

⇒ info@carbon-markets.go.jp

メールマガジン登録内容変更もしくは配信停止ご希望の方は、下記ページより手続きください。

⇒ <https://www.carbon-markets.go.jp/newsletter/>

メールマガジンのバックナンバー(PDF)は下記サイトで公開しています(最新号を配信後に、前号がアップされます)。

⇒ <https://www.carbon-markets.go.jp/newsletter/2021/>

◎ ●発行・編集

炭素市場エクスプレス事務局 / 一般社団法人海外環境協力センター (OECC)

〒110-0016 東京都台東区台東 4-19-9 山口ビル 7・7 階

※このメールの記載内容の無断転載、無断複製を禁じます。